



Zenhoren

全保連株式会社

2025年3月期 第3四半期

# 決算説明資料

2025年2月

東証スタンダード

5845



# 主要なポイント

QUALITY FOR THE FUTURE  
新たな価値へ、新たな未来へ

## 主要 ポイント

1. 中期経営計画\*<sup>1</sup>は、計画通り進捗
2. 各種戦略実行によりトップラインは前期比4.9%の増加
3. DX戦略に基づく経費削減によって、前期比増収増益を確保

(単位：百万円)	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 3Q累計	24/3期3Q		前期比差異コメント	25/3期 計画	(ご参考) 24/3期 実績
					前期累計	前期比増減* <sup>2</sup>			
売上高	6,356	6,375	7,081	19,182	18,279	4.9%	継続保証委託料による増収	26,021	24,510
売上原価	2,119	2,228	2,101	6,448	5,250	22.8%	信用コストの期中平準化に加え、 厳格な求償債権処理を実施	7,807	7,191
販売費及び一般管理費	3,540	3,609	3,578	10,727	11,165	▲3.9%	DX戦略に基づくプロセス改善・ デジタル化により、業務効率化を実現	15,810	15,094
営業利益	696	538	772	2,006	1,863	7.7%		2,403	2,224
経常利益	688	530	773	1,991	1,825	9.1%	売上原価増加するも販管費削減等により、 営業利益・経常利益・四半期純利益は 前期比上振れ	2,372	2,189
四半期純利益	474	363	534	1,371	1,253	9.5%		当期純利益 1,623	当期純利益 1,538

1: 2024年5月15日開示の決算説明資料P12記載

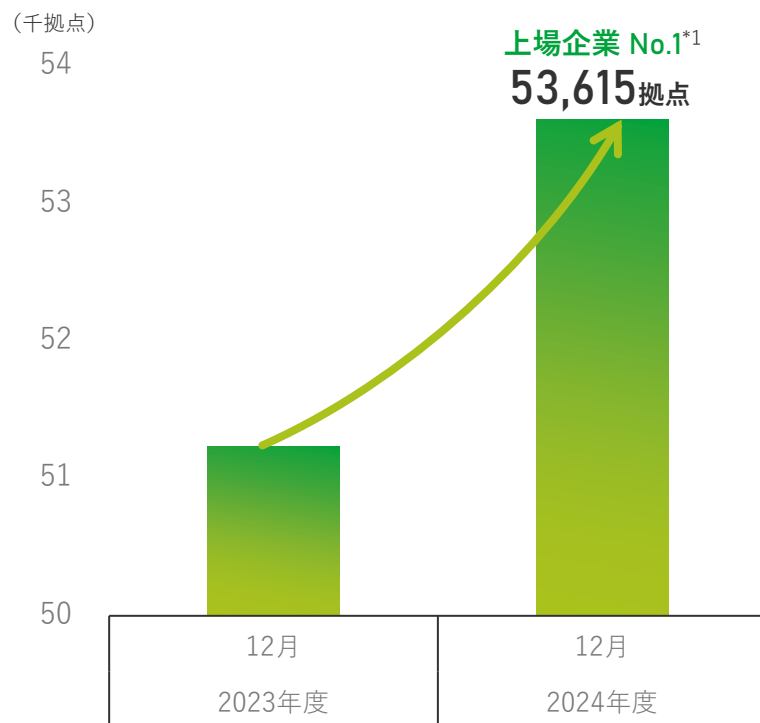
2: 前期比増減は表示金額により計算（小数点第2位以下切り捨て）

## 協定会社拠点数、契約件数ともに増加

### 協定会社拠点数 (累計)

2023年度12月末からの増加数

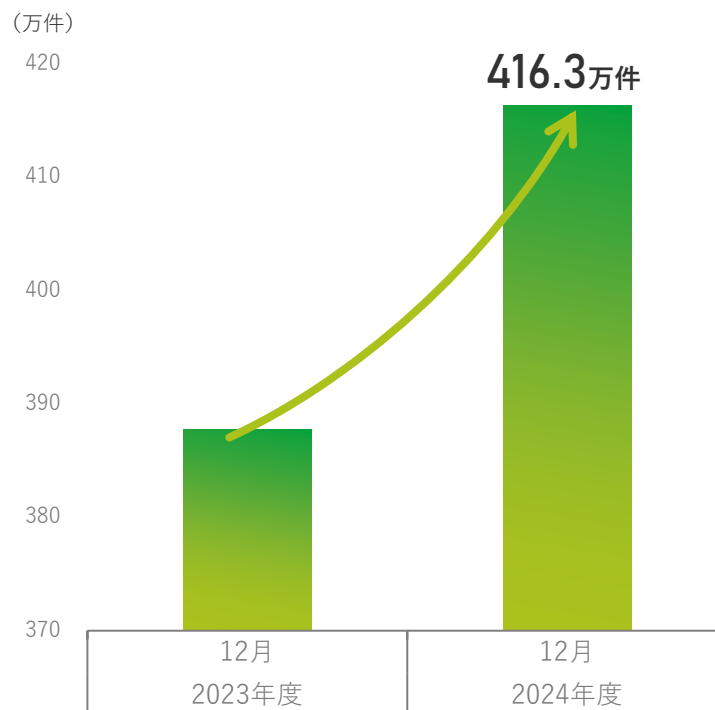
**+2,380**拠点



### 累計家賃債務保証契約件数

2023年度12月末からの増加数

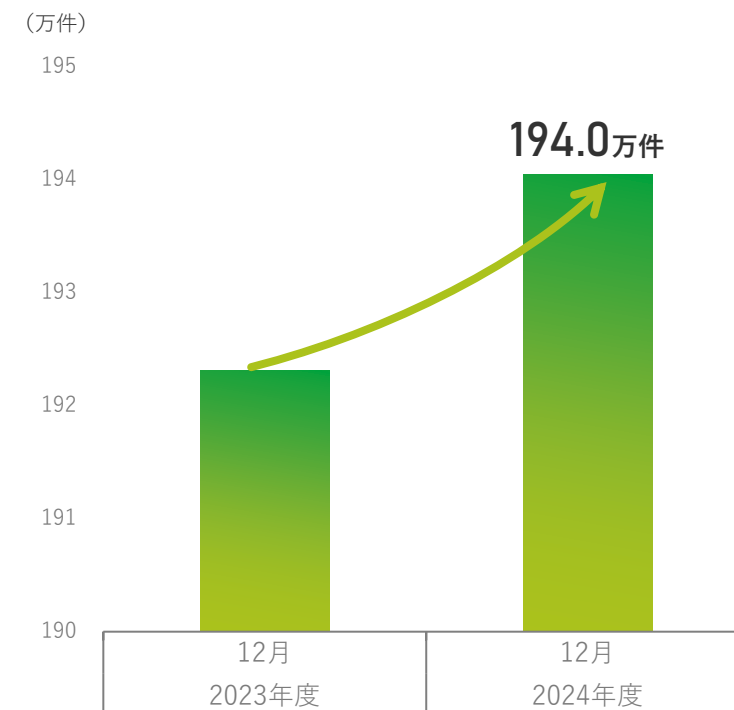
**+28.5**万件



### 保有契約件数

2023年度12月末からの増加数

**+1.7**万件

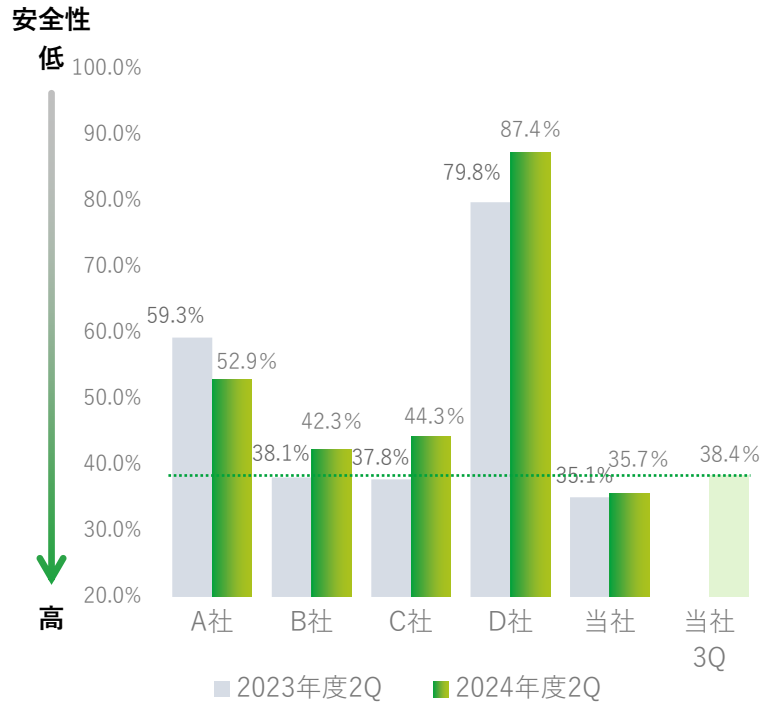


1. 協定会社数を公表している家賃債務保証事業を主たる事業とする上場4社との比較

## 同業他社比では抜群の安全性・収益性も高水準

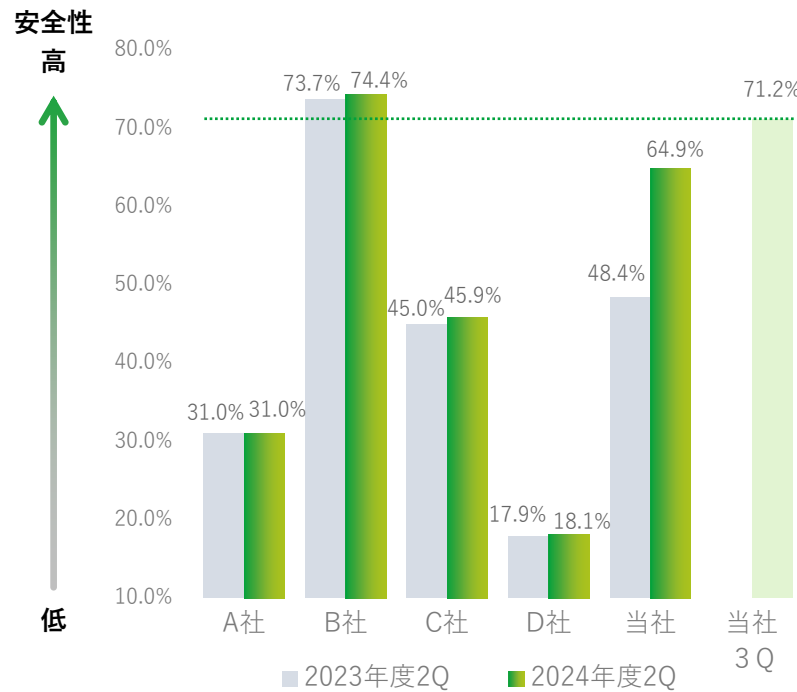
売上対比求償債権率\*1

38.4%



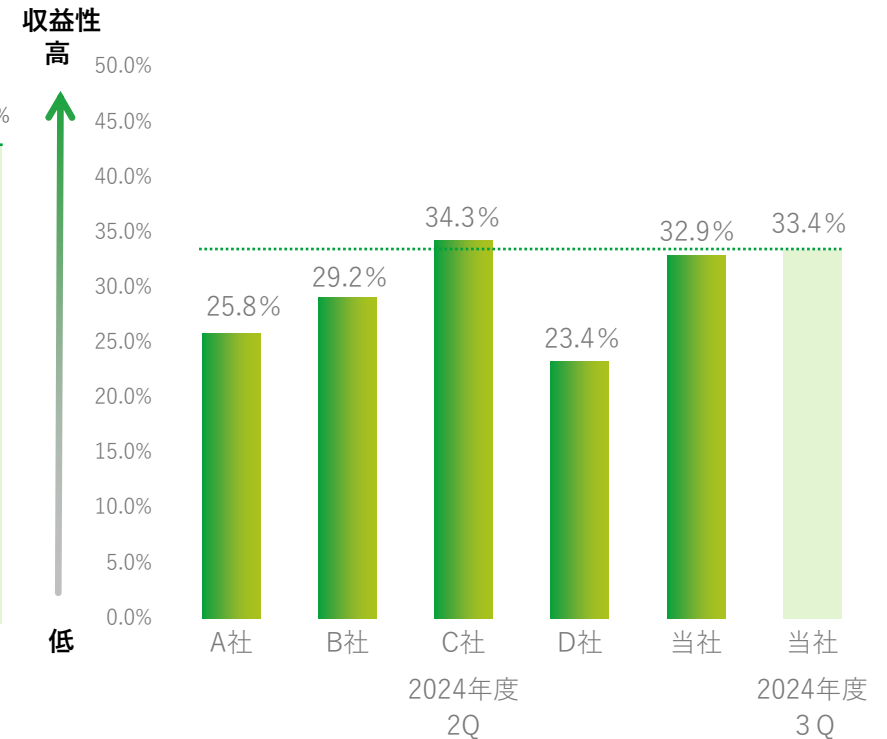
求償債権対比貸倒引当率\*1

71.2%



(調整後) EBITDAマージン\*1.2

33.4%

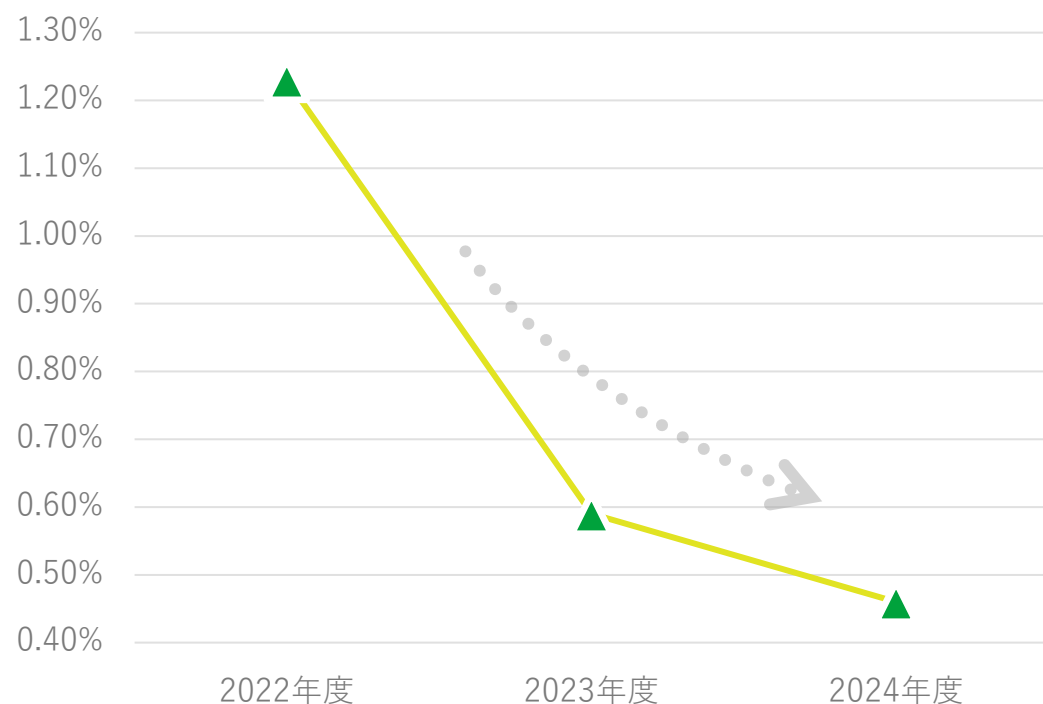


1. 同一条件で比較可能な公表をしている家賃債務保証事業を主たる事業とする上場4社と当社の比較
2. (調整後) EBITDAマージン = (営業利益 + 減価償却費 + 貸倒引当金の増減 + 保証履行損失引当金の増減) / 売上高

## 早期入金控除後30日期間代位弁済率・代位弁済回収率ともに継続して改善

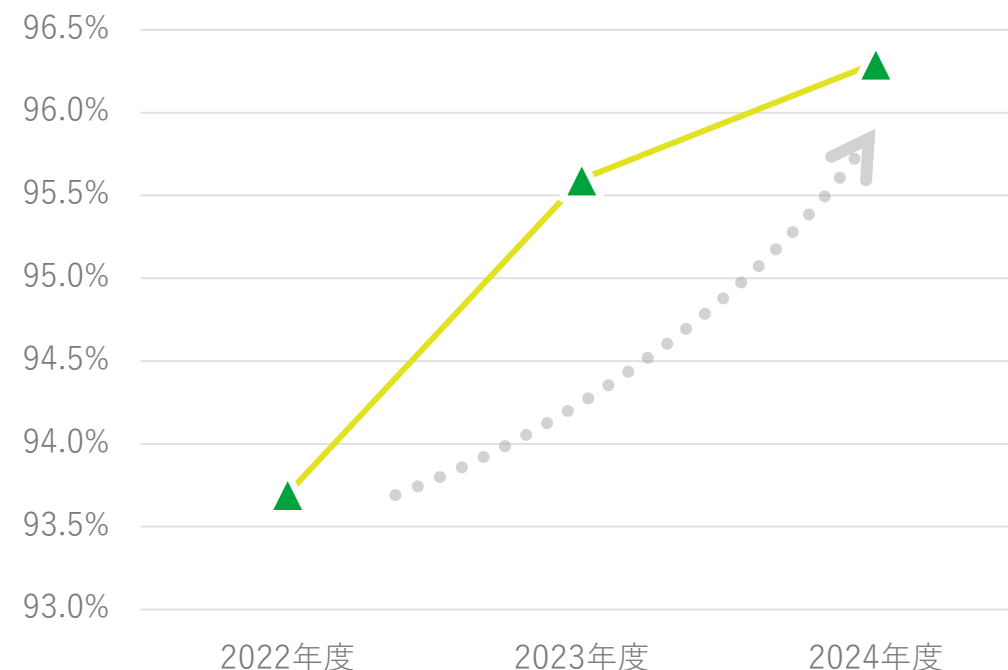
早期入金控除後30日期間代位弁済率\*1

2022年度*2	2023年度*2	2024年度_3Q*2
1.23%	0.59%	0.46%



代位弁済回収率

2022年度*2	2023年度*2	2024年度_3Q*2
93.7%	95.6%	96.3%



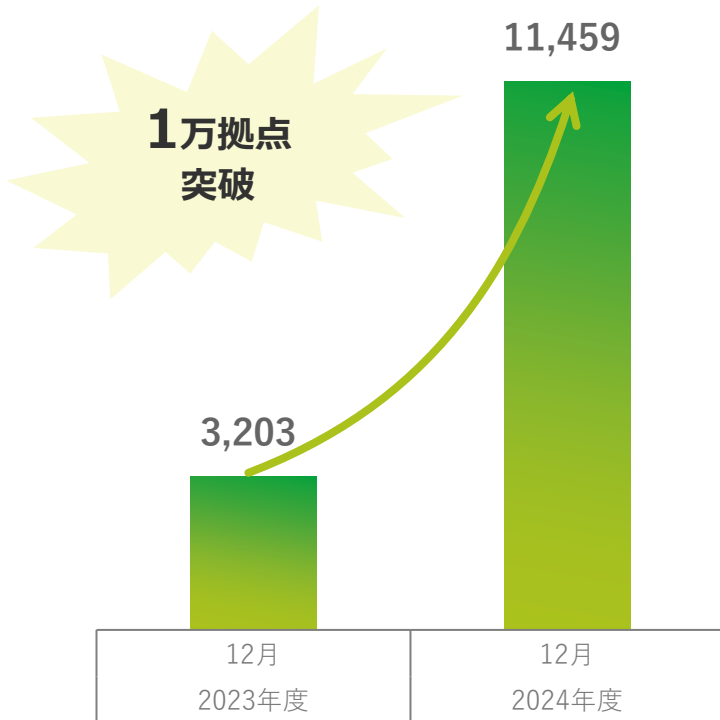
1. 当社が開発した審査精度を測定する指標。代位弁済が発生したものの内、30日以内に入金の無かった件数を総契約件数で除して算出

2. 年度平均の数値、2024年度については、4月~12月までの9ヶ月平均の数値

## Z-WEB2.0導入拠点数の飛躍的拡大に伴い、電子申込率・電子契約率も順調に推移

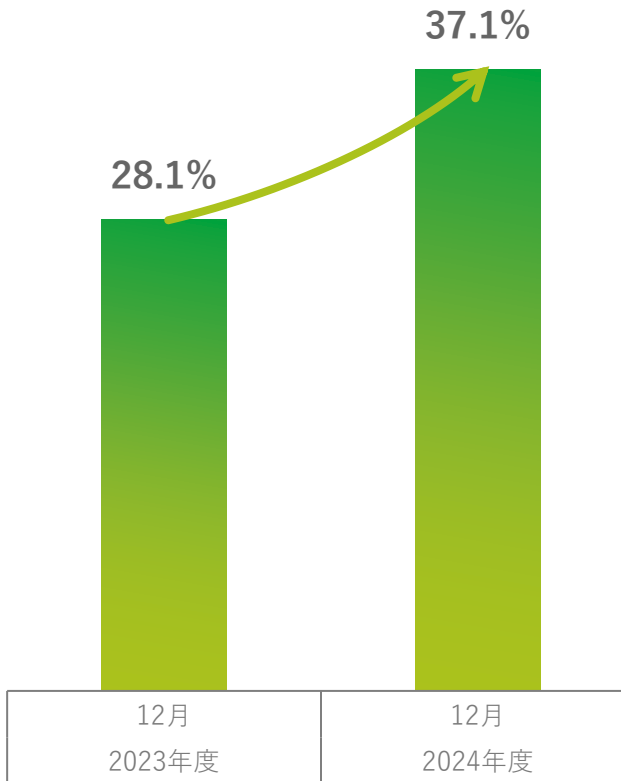
### Z-WEB2.0 導入拠点数

+8,256拠点



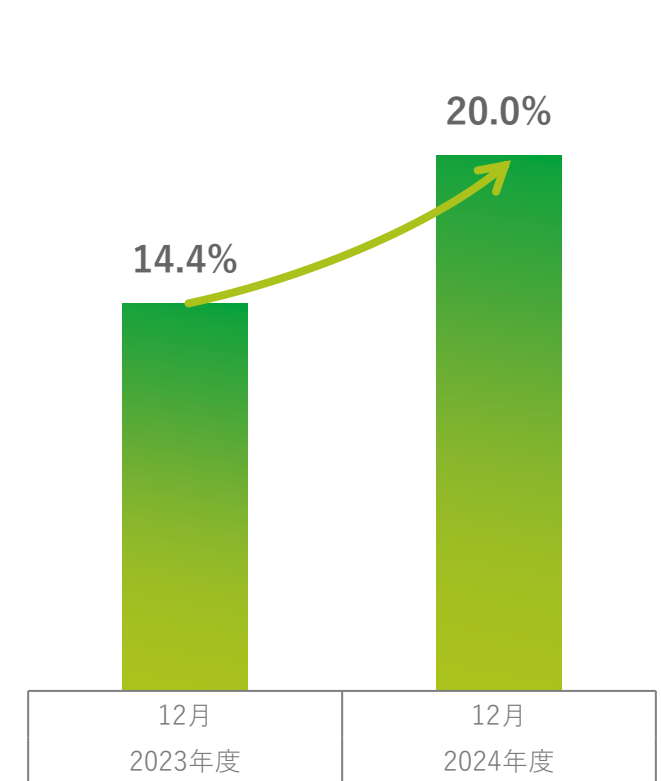
### 電子申込率

+9.0pt



### 電子契約率

+5.6pt





# Topix

QUALITY FOR THE FUTURE  
新たな価値へ、新たな未来へ



# Z-WEB2.0導入促進施策

協定会社の利便性向上のため、「Z-WEB2.0」の改良に継続して取り組み、  
当社家賃債務保証利用増加・事務コスト削減に努めてまいります。

## 自動案内機能による操作性向上



必要事項の入力を自動案内機能に沿って  
進めることで、作成マニュアルに頼ることなく、  
スムーズに事務手続き完了

## お客様の導入事例紹介ページの公開



Z-WEB2.0 | 審査結果が最短10分 無料電子申込システム

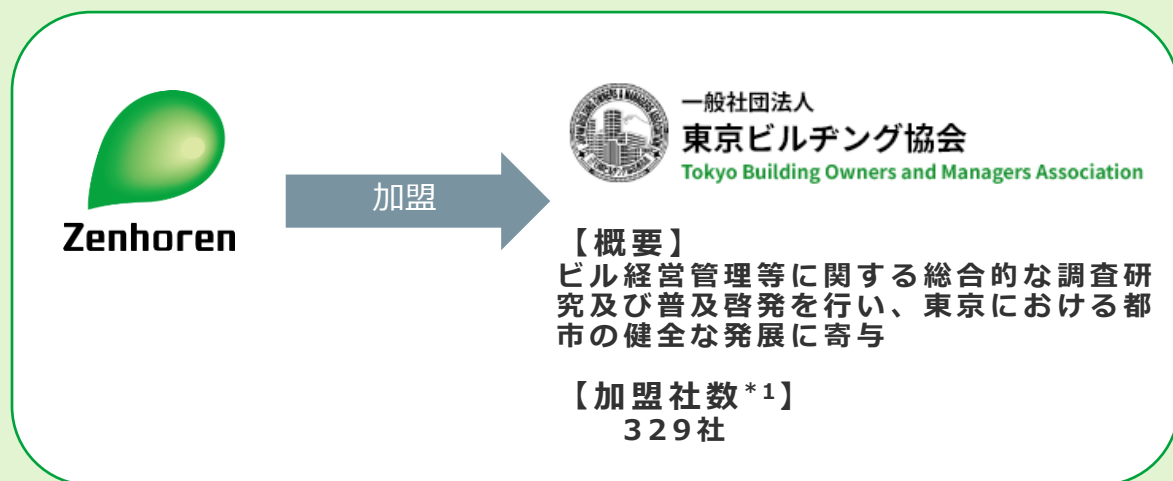
実際に利用された協定会社の声を共有することで、  
システム導入に関する疑問・障壁を解消

業務効率向上に寄与するZ-WEB2.0をより多くの協定会社に利用頂くことで、  
当社の家賃債務保証の申込増を図り、併せて当社の事務コストの削減につなげる

# 事業用マーケティング強化/代位弁済事務の効率化

事業用戦略：東京ビルディング協会に加盟することで、事業用マーケットの対象拡大を図る  
 業務効率化：ペーパーレス化によるコスト削減

## 事業用の取組み

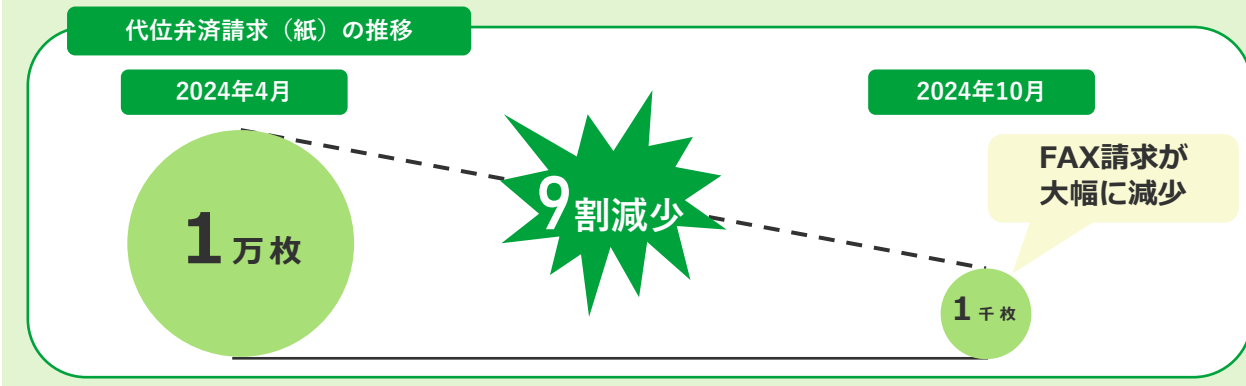


事業用の家賃債務保証認知度を高める

## 代位弁済請求手続きのペーパーレス化



- ・ HP上に代位弁済請求機能を追加したことにより、請求事務のペーパーレス化が更に進展
- ・ 代位弁済請求書(紙)での請求は、半年間で9割減少



## 皆さまにより使いやすいウェブサイトへ変更

洗練されたデザインへと変更することで、当社に対する信頼性を高め、当社への「安心感」を訴求



- ・業務機能を整理することで画面をシンプルに構成
- ・目的の情報にたどり着きやすくするように、ウェブページの構成を改善し、サイトの閲覧しやすさを向上



# サステナビリティ

QUALITY FOR THE FUTURE  
新たな価値へ、新たな未来へ

# 全保連未来創出奨学金

奨学金の拠出を継続し、学生や若手研究者の育成に寄与（2019年度以降）



年度	人数	支給総額	受給生の主な在籍学部
2019年度	9名	90万円	人文社会学部・観光産業科学部・教育学部・理学部・医学部・工学部
2020年度	17名	170万円	人文社会学部・法文学部・国際地域創造学部・教育学部・医学部
2021年度	14名	140万円	国際地域創造学部・理学部・工学部・教育学部・医学部
2022年度	18名	180万円	人文社会学部・国際地域創造学部・教育学部・医学部・農学部
2023年度	9名	180万円	人文社会学部・国際地域創造学部・理学部・工学部・農学部
2024年度	9名	180万円	人文社会学部・国際地域創造学部・教育学部・理学部・医学部・農学部

## 琉球ゴールデンキングスへの支援

当社がトップオフィシャルパートナーである、琉球ゴールデンキングスの活躍

### キングスの活躍

#### 戦績

- ① B1リーグ西地区1位の成績\*1
- ② 東アジアスーパーリーグファイナル4進出\*1
- ③ 天皇杯決勝進出\*1

#### 収益

入場料収入で、12億1173万円を記録\*2  
※ B1リーグNo.1の入場料収益

### CSR

沖縄県内でミニバスケの選手として活躍している児童たちを、キングスホーム戦にご招待

「プロの試合を観戦し、熱いプレーを目に焼き付け、そこで得た感動を胸に、今後のミニバスケ活動に活かして頂ければ」との思いを実現



1. 2025年2月14日時点の戦績  
2. Bリーグ2023-24シーズンの実績

本資料は、全保連株式会社の業績見通しが記載されております。

業績見通しの記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、実際の業績は様々な要素により業績見通しとは異なる可能性があります。

## IRに関するお問い合わせ



Zenhoren

全保連株式会社

経営企画部

E - mail [ir-info@zenhoren.co.jp](mailto:ir-info@zenhoren.co.jp)

電話番号 **050-3124-6500**